

自己評価報告書

平成 23年 4月 8日現在

機関番号：32605

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008 ～ 2011

課題番号：20530701

研究課題名 (和文)

日本の近代化と女性キリスト者の知的形成・文化貢献

研究課題名 (英文) Formation of the Christian intellectual culture contribute to the modernization of Japanese women

研究代表者

樽松 かほる (KUREMATSU KAORU)

桜美林大学・心理・教育学系・教授

研究者番号：90112656

研究分野：教育学

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：YWCA、女性キリスト者、近代化とキリスト者、女性史

1. 研究計画の概要

本研究は1903年から45年までのYWCAの組織・事業活動の悉皆的調査とYWCAの活動に参加した女性のキャリアコースの事例研究により、YWCAが女性キリスト者の知的形成にどう関わり、その文化貢献を通じて日本の近代化に果たした役割を明らかにすることを研究目的としている。(1)日本YWCA及び東京YWCAの機関誌の分析を行い、YWCAの活動を通じて、女性キリスト者の知的形成を明らかにする。(2)海外・国内調査を行い、YWCAの活動家であった大竹満洲子と木村雪に関するライフコース研究を中心に展開する。

2. 研究の進捗状況

日本YWCA機関誌『明治の女子』、『女子青年界』(1904~1944)の誌面調査を行った。活動の特徴から誌面の変化は3期に分けられる。第1期1904~1912年である。いわば外国人宣教師を中心としたYWCAの創業期と言える時代で聖書研究を中心とした誌面構成の特徴がみられる。第2期は1913~1924年である。総幹事が日本人の河井道になり、夏の夏期修養会を中心として河井の強いリーダーシップの元に学生YWCAが確立する時代である。第3期は1925~1944年である。この間のYWCAは婦人の労働問題に積極的に取り組んだ時代であった。書誌的な整理分析を通じて、近代日本の女性キリスト者に求められた知性、教養形成の一端を明らかにすることができた。調査は現在も継続中である。

YWCAの活動は主として女子学生を対象とする全国的組織日本YWCAと職業婦人、一般女性を対象とする市部組織、すなわち東京YWCA、横浜YWCA、大阪YWCA、神戸YWCA、名古屋YWCAなど等に分けられる。市部の中で最初に設立され、しかも、機関誌を継続的に

刊行していた東京YWCAを選び、機関誌『地の塩』の書誌的調査を行い、YWCAの市部活動の実態を調査することができた。しかしながら、本調査は現在のところ不十分である。『地の塩』の誌面と『女子青年界』の誌面との比較検討などを通じて職業婦人を中心とした女性の知的形成、文化貢献を明かにするところまで至っていない。書誌分析において残された課題も多々ある。

一方、女性キリスト者の文化貢献を検証するために、YWCAの活動家であった木村雪子、大竹満洲子のライフヒストリーの研究をアメリカハワイ、国内調査などによって進めたが、まだそれぞれの相互的な人物史研究には至っていない。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。

研究計画で示した研究内容の基礎的な調査を一応終えることができたが、調査に基づいて十分な分析を加えて論文を作成したり、学会で報告するところまでは至っていない。

4. 今後の研究の推進方策

東京YWCA機関誌『地の塩』の総目次のデータベース化が終了しているので、解説を加えて刊行する。これまでの調査研究に基づいた論文を作成し、適切なるメディアを通じて公刊する。木村雪子、大竹満洲子のそれぞれのライフヒストリー研究を完成し、著書として刊行をする。

今回の研究調査を通じて今後以下の二点の研究のさらなる発展の必要を感じた。

第一に、YWCAの市部活動が予想を越えて非常に個別な特色のある活動をしていたことが明らかになってきた。今後はそれぞれの市部の活動をより精細に調査して研究テーマを推進していく必要がある。

第二に、アジア諸国たとえば中国でのYWCAの活動との比較研究をすることにより、日本における女性キリスト者の知的形成と文化貢献の特質をより明らかにすることができると思われる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

影山礼子、昭和戦前期のキリスト教社会・キャリア教育の一側面—東京YWCA機関誌『地の塩』書誌分析、関東学院教養論集、第21号、29～48、2011年、査読なし

樽松かほる、日本YWCA機関誌『明治の女子』の書誌分析、桜美林論考心理・教育学研究、第1号、59～78、2010年、査読あり